

----- (はじまり) -----

タケシ「そんなんでガンが治るなら誰も苦労しないって...」

アスカ「あらタケシくん。まじめな本も読むのね。え、何々、笑いとガンの関係？面白そうね」

タケシ「はい。この前、保険の勧誘でガン保険を勧められまして。ガンについてちょっと調べてたんです」

アスカ「マーケティング部員としては、調べものが好きなのは好感が持てるわね」

タケシ「で、この本に書いてあったんですが、笑えばガンが治るんですって。そんな馬鹿なことないですよ？」

アスカ「さあ、決め付けるのはどうかしら。一日3000個はガン細胞ができていて聞いたことあるわよ。それを人間本来が持つ免疫系で殺しているから発病しないって」

タケシ「ま、毎日、そんなにですか！？ええーっ、僕もですか！？」

アスカ「何ビビってるのよ。その治るっていうデータがあるんなら、検証してみればいいじゃない」

タケシ「あ、は、ハイ。これです。これ」

	笑う前	笑った後		笑う前	笑った後
	=====	=====		=====	=====
被験者No.1	100	28	被験者No.9	29	21
被験者No.2	17	11	被験者No.10	27	16
被験者No.3	20	9	被験者No.11	53	41
被験者No.4	18	11	被験者No.12	38	30
被験者No.5	28	20	被験者No.13	37	18
被験者No.6	22	23	被験者No.14	18	6
被験者No.7	23	20	被験者No.15	56	48
被験者No.8	27	9	被験者No.16	24	20

-----  
数値はインターフェロンの量(少ないほど良好)

タケシ「...、...」

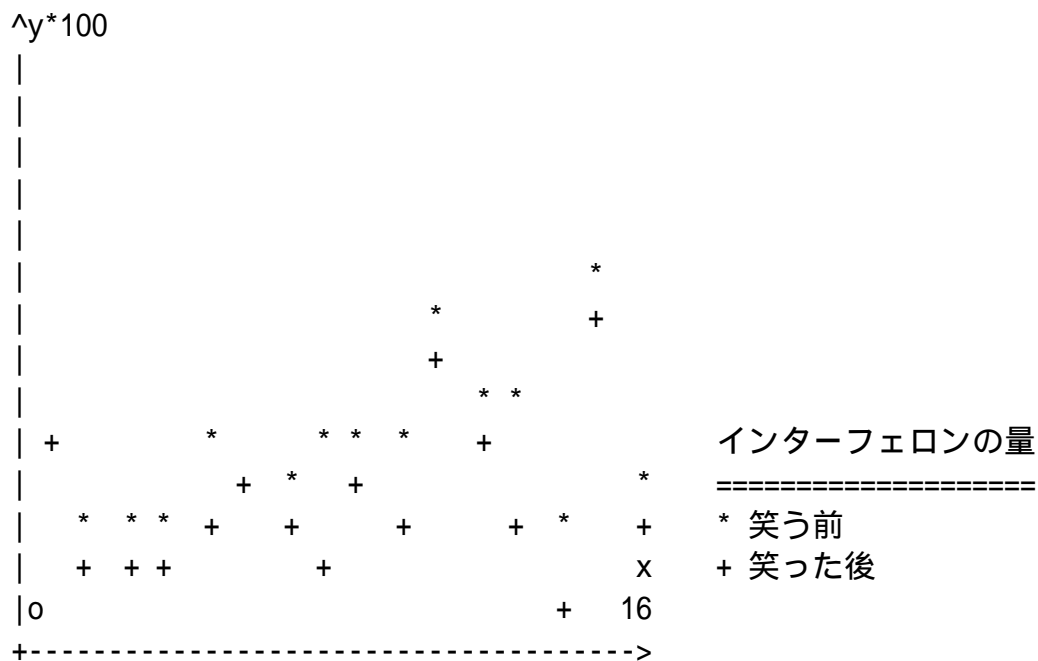
アスカ「何で私が検証するような雰囲気なのよ。ふーん、16名分のデータか。で、標本が対応関係にあるのね」

タケシ「た、対応関係ですか？な、何でしたっけ。それ」

アスカ「忘れたの？この前、教えたでしょ。同じ人で使用前、使用後のようにデータ取れた場合に対応関係があるというのよ。この場合、笑う前と笑った後のデータって同じ人のでしょ」

タケシ「そ、そうですね。そうなります...」

アスカ「ったく、しっかりしてよね。一応、グラフ化してみるわよ」



アスカ「横軸が被験者で16人、縦はインターフェロンの量で最大が100で最小が0ね。グラフで見ても笑った後はインターフェロンの量が減っていることが一目瞭然だけど...」

タケシ「そして、目で見ただけじゃなくて、統計で検定ですね！」

\*

アスカ「そう、この場合は母平均の差の検定が使えるわね。おまけに標本が対応関係にあるから面白い結果が出そうね」

タケシ「見た目では効果アリアリなんですけど、やっぱり笑いでガンを治すなんてトンデモ本ですかねえ」

アスカ「分からないわよ、どうなるか。ええっと、検定量は3.11ね。確率にして0.35%か…。すると有意水準1%と見積もっても帰無仮説は棄却されるわね。つまり、笑いによってインターフェロンの減少が有意に見られるってことね」

タケシ「そ、そうなんですか！笑うとガンにならないんですか！」

アスカ「いきなり、そこまではねえ。インターフェロンの量がどれだけガンと関係しているかが分からないと何とも言えないかな。インターフェロン自体はウィルスに抵抗するために作られるたんぱく質らしいけど、その量が減るということは免疫が勝ってウィルスが減っているということなのかなあ…」

タケシ「そうですか…。なんだあ、ちょっとがっかりです」

アスカ「ところで、あなた何歳？その年齢でガン保険は必要ないと思うよ」

タケシ「え！そ、そうなんですか」

アスカ「うちの社にはいろいろと統計資料があるでしょ。寿命との関係を調べてみたら。若年層でガンで死ぬ確率って全体からすると僅かよ」

タケシ「でも、ガンで怖いですよ。この前なんか生命保険に加入するときにも、『死ぬのはいいんです。高度障害が怖いんですよ』なんて、勧誘員の人に説得されたし…」

アスカ「あんた、生命保険も入ってるの？要らないと思うよ、その年齢で。あなたの年齢なら高度障害ってほとんどが事故によるものですよ。車の事故なら自賠責とか任意保険入ってるでしょ。それでカバーできるんじゃないの？それに高度障害の認定って厳しいらしいよ」

タケシ「そうなんですか。他にも特約とかいっぱい入ってしまったけど…」

アスカ「人それぞれの人生設計だからね。保険に関する考え方もそれぞれだけど、扶養家族がいるわけでもないし、私は自分の年齢なら損得勘定で考えるわね。貯蓄性のある保険だなんて勧誘されても投資効率は疑問だしね」

タケシ「うう…保険勧誘員の言ったことが全部ひっくり返されているような…。保険見直しかなあ…」

----- (つづく) -----